

## グローバル・カフェ×香川大学将棋部共催「初心者将棋教室」を開催しました

5月21日（火）、香川大学将棋部と「初心者将棋教室」を共催しました。将棋部とは2024年1月以来、今回で二度目の共催となりました。留学生5名、日本人学生17名、教職員3名の計25人が参加しました。参加学生のうち留学生3名を含む数名は前回の将棋教室イベントから参加しているリピーターでした。

イベント冒頭に、参加者へ日英で作成された資料が配布され、駒一つ一つの名前と動きの説明がありました。将棋というと二人が向き合って大局するイメージがありますが、今回将棋部が用意したのは「詰将棋（つめしょうぎ）」と言われるゲームです。詰将棋は通常の将棋と異なり、相手の駒を取り合うことなく、相手の玉（王将）を詰ます（相手の玉を動けなくすること）手段を考えるというゲームです。相手の玉が動けなくなり、どのような手を指しても必ず詰みとなる状況を作り出す必要があります。将棋部から全部で5問問題が出され、グループに分かれた参加者が力を合わせて挑戦しました。



イベントの最後には将棋に関するトリビアクイズが10問出題され「①これまでプロの大局で一手を指すのにかかった最長時間は？」「②将棋の起源となったゲームは何？」等の問題が出されました。[答えは下部]



参加者から、将棋はチェスと違って自分が取った駒が使えることや、自分の駒が敵陣に入ると、成れる（裏返ってより強力な駒に変身！）のが、奥が深い。詰将棋を解くのも楽しいが、今度は問題を作りたい。などのリクエストの声も上がりました。近いうちに将棋部と第三回目となる共催イベントが実施できることを期待します。

答え①324分 ②古代インドのチャトランガ